

取り付け方（リア）

安全な場所にジャッキを掛けタイヤを外し、エアサスの場合エアーを抜きます。11系はトランク内左側にあるエアサス作動スイッチをOFFにし、エアーを抜く時急に車高が下がりますので必ずタイヤを浮かせた状態で行ってください。エアーを抜く場所はショックの上部のジョイント又はトランク内の燃料タンク右下にあります。スタビライザーリンクを外し、ショックのボルトを外しますナックル側にカラーがありますので、一度外しKITのアルミカラーは（削り落としてある側をショック側に向けてください）を純正のショック取り付け位置に刺し再度取り付けます。次にKITを取り付けますがKITには左右、前後がありますので注意して下さい。KITの内側に凹がある方が後ろ側になります。ボルトを締め付ける際は必ずナックルを持ち上げナックルとKITの下側が当たっている事を確認して下さい。（ショックの力を純正ボルト位置とナックルの下側で分散させる為）。締め付けトルク 13k~14K-m。



本品装着後、各部ネジ等緩んでいないか確認して下さい。また本品は最低地上高を下げる物では有りません。過激なローダウンはKIT 破損の原因になりますので絶対にお辞めください。日頃点検を行って下さい。

注意リアの装着後は、ジャッキでタイヤを浮かせている状態でタイヤを回さないで下さい。ショックとドライブシャフトが干渉しブーツ破損の原因になります。また（エアサス車）ジャッキを降ろしてショックとドライブシャフトブーツが5mm以上になるように調整して下さい。調整方法は車高センサーの取り付け位置（ロアアーム側）を下げると車高が下がります。SSキットが装着出来たら、各部ネジボルトの緩みがないか確認すると共にキット及びアームが接触していない事も確認して下さい。SSKIT 装着後は車輻が今までより約20mm程、沈み込みますのでタイヤとフェンダーが接触する恐れがありますので注意して下さい。エアサス車の場合車高の変化はありません。

本品はノーマルショックを対象に製作していますので社外のショックとの併用は出来ません。

作業中作業後の事故等については、一切責任を負いませんのでご了承下さい。

※ **エアサス車**はエアーを入れる前にショックを上下に動かしてスムーズに動くことを確認して下さい、引っかかりや擦れる音がする場合は、付属のアルミワッシャーで対応して下さい。（エアサス車は装着をお勧めします）

※ **エアサス車**は必ずエアーの入っている状態、最低地上高90mm以上で走行して下さい。

※ 約100km走行後**ボルトの増し締め**及び緩み無いかチェックして下さい。走行に支障がある場合は本品を外す様お願いします。

※ 本品はノーマル車高、ノーマルホイールのデータ基準に製作していますので走行に支障がある場合は取り外しを、お願いします、本品は純正ショックのみ対応となります。

※ **車検には受かる構造になっていますが合否は検査員の判断に委ねられます**